

第 6 3 回関西実業団対抗駅伝競走大会開催にあたり

平素は当連盟事業に対しご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。
関西実業団対抗駅伝競走大会は、今年で 63 回目を迎え、田辺市龍神村での開催は 29 回目を迎えます。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの競技会が中止・延期となりましたが、本大会開催に向けて、スポーツ庁や日本陸連等から出されたガイドライン・ガイダンスを基本にあらゆる対策を講じまして、地元住民の皆様にご理解をいただくことができ、開催の運びとなりました。

具体的には、現地での応援自粛のお願い、開閉会式・表彰式の見合わせ、公共施設の利用を極力避けるため仮設テント・仮設トイレの設置、選手輸送についても全て主催者で準備いたします。これらの対策について、関係の皆様には大変ご不便をおかけしますが、新型コロナウイルス感染拡大防止へのご理解・ご協力の程、お願い申し上げます。

いよいよ明日に迫りました関西実業団対抗駅伝競走大会は、来年 1 月 1 日に開催されますニューイヤー駅伝の予選会を兼ねております。今年のニューイヤー駅伝では関西連盟代表全 4 チームが 30 位以内に入ることができ、当連盟の出場枠は 1 枠増の 5 チームとなりました。応援の皆様には、現地での応援自粛をお願いしておりますが、ライブ映像配信にて選手の力走をお届けしますので、遠隔ではありますが心温かい声援をよろしくお願いいたします。

また、明日の大会はニューイヤー駅伝の前哨戦でもあり、選手の皆さんには積極果敢な走りを期待しています。1 年延期となりました東京オリンピックは、どのような形で開催されるのか注目されますが、この大会を契機に、当連盟から一人でも多くの選手が日本代表選手として活躍されることを祈念いたします。

最後になりましたが、田辺市、和歌山県警、和歌山陸上競技協会、地元龍神村の関係者をはじめ、関係各位の皆様のご支援、ご協力に対しまして、重ねて御礼を申し上げまして、簡単ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。

選手のご健闘をお祈り申し上げます。

令和 2 年 1 1 月 1 4 日
関西実業団陸上競技連盟
会長 仮屋 雄司